

ウミガメに出会えたよ

宮浦小 三年 山の口 ゆう大

「今年も会えるかなあ。」

ぼくは、ウミガメと会うのがとても楽しみ
てした。でもぼくたちより前に見に行つたグ
ループが、ウミガメを見れなくてざんねんだ
つたと言つていたので、

「ぼくも、見れなかつたらどうしよう。」
と、心配になりました。

夜 九時半ごろすぎ、ここを出発しました。

田代が近に着くと、ほり先生たちがウミガメ
が来ていないか、さがしに行きました。車の
中でまわっている間、前回見れなかつたひろむ
兄ちゃんが、

「今回も見れなかつたら、さいあくだなあ。」
と言つていたので、ぼくも、

「そうだよなあ。二年れんぞく見れたから、
今年もぜったいに会いたいよな。」
と思ひました。

しばらくすると、ほり先生からウミガメが

来たとれんらんかがありました。ぼくたちは、
いそいでむがいました。そこには一匹きの大
きなウミガメがうろうろしていました。一年
生のそうしくんが、
「どうしてカメはうろうろしているの？」
と小さな声で聞きました。

「さんらん場所をさがしているんだよ。」
と先生が教えてくれました。

カメをおどろかせないようにしずかに見て
いました。ところが、場所が気に入らなかつ

たのが、そのカメは、海にもどってしまいま
した。さんらんするところが見れなくて、と
てもがかりしました。よく見ると、月の光
にてらされて、こうらが光っているカメをも
う一匹き見つけました。

「こんどこそたまごをうんでほしいなあ。」

と、思いながら見ていました。このカメも
うろうろして、けっきよく帰ってしまいまし
た。ぼくはさっきより、もつとがかりしま
した。もうあきらめかけた時に、

「カメラがたまごをうんでいるよ。」
と、れんらんがきたので、いそいで見に行き
ました。ドキドキしながらそつて近づくと、
そのカメラは、たまごを生み終えて、すなをか
け始めていました。カメラの顔には、なみだを
流したあとみだいたな線がありました。ぼくた
ちは、しずかにカメラを見まもってあげまし
た。ひろお兄ちゃんも、うれしそうに見ていま
した。

すなをかけ終えたカメラは、海に帰って行き
ました。ぼくは、
「会えてうれしかったよ。また来年も、会え
たらいいね。」
と、心の中で思いながら、カメラにむかっ
て、小さく手をふりました。